※　応援団登録していただいた方には郵便又はメールでお届けしています。

令和６年８月発行　　広尾町コミュニティ・スクール

広尾っ子応援団だより (No.79)

広尾っ子応援団本部事務局（教育委員会社会教育課）電話 01558-2-0181

授業の紹介～重点目標に向けた学びより

今回は７月に行われた広尾小と豊似小での重点教育目標を目指した授業の様子を紹介します。１学期のまとめの時期を迎え、子どもたちはこれまでの学びを生かして積極的に学習活動を進めていました。

【広尾小学校（７月１７日）：３年生、国語科、単元名「紙ひこうき、きみへ」】

子どもたちは物語（教材文）の各場面を学習したあとに、主人公の気持ちが一番大きく動いた場面について考えました。

タブレットを使って自分の考えを全体に提示したり、友達と考えを交流したりして学びを深めていました。特に、文章を読んで大切な言葉や表現を押さえながらよく考えている子どもたちの姿がありました。

＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊

【豊似小学校（７月２２日）：３，４年生、社会科】

３年生の単元名：「農家の仕事」

子どもたちは酪農家の仕事について学習しました。よい牛乳を生産するための工夫を調べるために、一人一人が酪農家の仕事にかかわる「問い」を考えました。

先生の説明や指示をよく聞いて、タブレットを使って自分の考えをまとめることができました。学習に集中した姿がありました。

４年生の単元名：「ごみの処理と利用」

子どもたちは分別されたごみの処理について学習しました。個々に考えた処理にかかわる問いについて、情報収集をしながら調べ学習に取組ました。

調べて分かったことをタブレットにあるワークシートにまとめていきました。自分のすることをはっきりさせ、学びの進め方をよく理解していました。

広尾っ子へ応援メッセージが届いています！

今は夏休みですが、学校のグランドやグリーンパークでは、少年団や部活で子供達が練習しているのを見ます。スポーツをすることで、強い心や身体をつくり、友達と楽しむ気持ちがいいと感じます。野外だけでなく、きっと体育館でもいろいろな室内の種目がされているのだろうと思います。ちょうど、オリンピックの様子がテレビで流れていて盛り上がっているので、子供達のスポーツへの関心が強くなってくれるといいなと思います。まちの子供達が、いつも明るく元気であることを祈っています。

（町内、６０代、男性、８月５日受取）

「ふれあい広場」～１学期の様子より

広尾っ子応援団本部（地域学校協働本部）が、子どもたちの放課後の居場所を提供するために、毎週、火曜日と木曜日の放課後（６時間授業の日）に広尾小の空き教室で開設している「放課後読書等ふれあい広場」の１学期中の活動の様子を紹介します。

１学期中は合計２０回開設し、延べ３４７名の子どもたち（対象：４年生以上）が利用してくれました。利用する子どもたちは、読書をはじめ用意されているカードゲームやオセロなどの遊び道具を使って、仲よく友達と交流しています。普段、あまり経験していない、けん玉などの昔の遊びやドミノも人気があります。帰りには、「また、次も来るからね！」といった声も聞かれ、子どもたちにとって楽しいひと時になっているようです。２学期もたくさんの子どもたちが来てくれることを期待しています。

ご家庭、地域の皆様には２学期の学校教育へのご支援と広尾っ子への温かい声かけや見守りをいただきますようお願いいたします。